

2021年1月26日

丸亀市長 梶 正治 様

新型コロナウイルス感染拡大を防ぐための緊急申し入れ

日本共産党丸亀市委員会
委員長 尾崎淳一郎

貴職の日々のご尽力に敬意を表します。

さて、全国各地で新型コロナウイルスの爆発的な感染がおこり、医療崩壊が始まっています。香川県でもこの間発生した医療・介護施設でのクラスターは、その感染の影響が深刻かつ広範囲であることを示しています。私たち日本共産党丸亀市委員会は、本市においても看過できない状況になりつつあると受け止め、感染状況や陽性者の入院・保護体制等の現状について、中讃保健福祉事務所に聞き取り調査もさせていただいたところです。

昨年来、数回に渡り本市でのコロナ対策について申し入れております。本来、コロナ対策は国の責任で抜本的に行なうべきものと承知はしておりますが、丸亀市民のいちと暮らしを守り抜く立場で、至急、感染抑止のための最大限の対策を取られるよう、以下の要望を行います。

1、無症状者も含め、感染者の早期発見で感染拡大を未然に防ぐこと

- ① 医療・高齢者・障がい者施設の職員及び入院・入所者に対しPCR検査を実施してくだ
さい

香川県の入院患者受け入れ確保病床数 199 は数字的には余力があるように見えても、現実には医師や看護師不足などからも全く油断できない状況であり、現に 84 名もの方 (1 月 21 日現在) が入院調整中となっています。コロナ感染以前に医療や介護等のケアが必要な入院・入所者が感染した場合、コロナ患者用病床の確保だけでは対応できず、医療現場のひっ迫に直結します。また、これまでの陽性者の 4 割がこれら施設の入所者であることから、医療、高齢者施設で感染を拡大させないことが何より急がれる対策と考えます。先日、県が介護施設の全従事者へ PCR 検査を行うと公表しましたが、これとあわせてすべての医療、高齢者、障がい者施設の職員、入院・入所者に集中的に PCR 検査を実施し、感染者の早期発見、拡大の未然防止につなげてくだ
さい。

- ② 児童福祉施設・学校の職員に対し PCR 検査を実施してください

県内でも保育所・学校の閉鎖につながる感染ケースも聞かれます。現場では職員が感染防止

対策を行いながら業務を進める大変さとともに、陽性者が発生した場合の『コロナ差別』への大きな懸念を抱え従事しています。子どもたちのいのちを守るとともに、教職員が安心して働けるよう、学校、保育所、青い鳥教室、児童館等の職員に定期的なPCR検査を実施してください。

2、コロナによるダメージから暮らしと営業を守るため直接支援を行うこと

① 仕事や収入が減少した生活困窮者に現金給付を行ってください

コロナの影響で商売をされている方はもちろん、納入業者、生産者など直接・間接に収入減少となった事業者、また、仕事量が減り困っているパート従事者に対し、現金給付を行って下さい。

② コロナ感染に伴い、休業せざるを得ない自営業、フリーランスの方のために「傷病手当」に相当する生活保障を行ってください。

この間、コロナ陽性者の濃厚接触者やその家族が、営業を一定期間停止しなければならぬが、その間の補償は何もないことに困惑するケースが出てきています。自営業やフリーランスの方にも、コロナに感染した場合、また感染が疑われ仕事ができない時の生活保障ができるようにしてください。

3、コロナ対策に罰則・制裁を持ち込むことに反対の意思を国に上げること

以上